

ベリーズ犯罪等発生状況（令和8年2月分）

[殺傷事件・銃撃事件関連]

2月3日【銃撃殺傷】 午前5時頃、ベリーズ郡ラ・デモクラシア村において、男性（24歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、事件当時、被害男性は交際していた女性と口論していたところ銃撃犯に襲撃され、胴体と腕を複数回撃たれた。なお、被害男性は過去に犯罪歴があり、ベリーズ刑務所へ服役していた経歴を持っていた。警察は、何らかの報復事件の可能性があるとみて捜査を続けている。

2月6日【銃撃殺傷】 午後6時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町のサウス・リバーサイド通りにおいて、漁師の男性（34歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。事件当時、パトロール中の警察官が銃声を聞き事件現場へ急行、到着した警察官が複数の銃創を負った被害男性を発見した。警察官は応援要請すると共に、付近の目撃証言により容疑者が乗車した不審車両を追跡したが、容疑者とみられる人物には逃げられた。なお、被害男性は地元では子供達の良き父親として知られる一方で、ギャング組織との繋がりも噂されていた。警察は近隣住民に情報を求めつつ、事件の捜査を続けている。

2月7日【銃撃で2人死亡】 午後8時頃、トレド郡プンタゴルダ町のクイーン通りの住宅において、男性A（24歳）とB（43歳）の2名が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性Aは麻薬の売人と見られており、Aの自宅で男性Bを含む数人で食事をしながら過ごしていたところ、フードを被った不審男性が麻薬を購入しに来た。Bが敷地内へ招き入れたところ、不審男性は拳銃を取り出し、AとBに対して複数回発砲した。その後、銃撃犯は逃走し、警察は近隣住民に情報を求める等、捜査を続けている。

2月9日【銃撃による負傷】 午前2時30分頃、ベリーズ郡マカボニー・ハイツ村において、女性（26歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、襲撃は被害女性の自宅で発生した。就寝中だった女性の夫が銃声のような大きな音で目を覚まし、自宅内を確認したところ銃創を負った妻を発見した。夫はすぐさま警察へ通報し、その後、西部地域病院へ緊急搬送し、容態は安定している。警察はこの事件の捜査を続けている。

2月10日【銃撃で2名負傷】 午後9時頃、ベリーズ市パークレー通りウェスト・チャンネル通りの交差点付近で、男性（21歳）とB（27歳）の2人が銃撃され負傷する事件が発生した。被害に遭った両名は、突然、銃声のような大きな音が数回聞こえ、続けて焼けるような痛みを襲われ、自分たちが銃撃されたことに気がついた。幸いにも、近くに停車していた車両の運転手に助けられ、そのまま病院へ搬送され、治療を受けた。警察は、この事件

の容疑者1名を拘束し、また、共犯者についての捜査を続けている。

2月12日【銃撃による負傷】 午後9時45分頃、ベリーズ市ダグラス・ジョーンズ通りにある質店において、男性警備員が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、同店で勤務していた警備員を武装した二人組が銃撃し、負傷した警備員から装備していた拳銃を奪い取った。幸いにも付近をパトロールしていた警察官がすぐに駆けつけ、容疑者を拘束した。なお、拘束された容疑者らは、いずれも未成年（16歳、17歳）だった。

2月13日【銃撃殺人事件（当館注目）】 午後7時45分頃、首都ベルモパン市のセント・アンズ・アングリガン教会付近において、男性2名（20歳、21歳）が死亡する銃撃事件が発生した。銃声があったと複数の通報を受けた警察が事件現場へ到着したところ、頭部に銃創を負い、動かなくなった被害者らを発見した。後日、警察による捜査の結果、この事件の容疑者と思われる男を拘束した。なお、この容疑者は、被害者らと友人関係にあったとされ、警察は引き続き詳しい動機を調べている。

2月17日【ギャングによる銃撃事件】 午後5時頃、ベリーズ市バラス通り、サウス通り、ジョージ通りにおいて、ギャング組織の構成員による発砲事件が発生し、付近にいた男性が負傷した。警察によると、この地域を縄張りとしているギャング組織の構成員が、被害男性を銃撃したが、この被害男性は本来の標的ではなく人違いだった。その後、被害男性はカール・ヒュースナー・メモリアル（Karl Heusner Memorial：KHM）病院へ搬送され治療を受けた。警察は、この事件の容疑者1名を拘束し、事件に使用されたとみられる拳銃を押収した。

2月20日【銃撃事件】 午後6時30分頃、ベリーズ市マッケンジー通りにあるバスケットコートにおいて、男性4名（22歳、22歳、23歳、27歳）が銃撃され、負傷する事件が発生した。警察によると、銃撃犯はバスケットコートの観客席の裏から現れ、被害男性らのグループに向け発砲した。被害者らは治療のため、KHM病院へ救急搬送され、容態は安定している。なお、警察は、被害者の中に最近保釈されたばかりの人物がいたため、何らかの標的にされた可能性が高いとみて、捜査を続けている。

2月21日【銃撃による負傷】 午後8時頃、ベリーズ市クラソウ通りにおいて、男性（22歳）が銃撃され、負傷する事件が発生した。警察によると、被害者男性が知人と路上で会話していたところ、不審車両から男が降りてきて、被害男性らに向けて複数回発砲した。発砲後、銃撃犯はすぐ車両に戻り、そのまま逃走した。銃創を負った被害者らは、治療のためKHM病院へ救急搬送され、容態は安定している。この事件について警察の捜査が続けられており、一般市民に対して情報提供を呼びかけている。

2月22日【**刺殺事件**】 午後9時15分頃、ベリーズ市ドリス・ブルックス通りにおいて、男性（43歳）が刺されて死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性は友人宅へ向かっている途中に待ち伏せされて襲われた。また、目撃者によると、この事件の容疑者は自分の恋人が被害男性と連絡を取り合っていたことについて、以前に激しい口論をしており、犯行に及んだと語った。警察は、容疑者を特定しており、現在行方を追って捜査を続けている。

2月24日【**農具で胸を刺される**】 午前10時頃、オレンジウォーク郡ヨ・クリーク村において、農夫（88歳）が刺される事件が発生した。警察によると、被害に遭った農夫が別の男性と農作業をしていたところ、農夫はこの男性が自分の食料品を食べてしまったことに腹を立て、激しい口論の末、先端の尖った農具（フォーク）で胸を刺された。農夫は幹線道路まで自力で逃げ、そこで救助をされ、治療のため北部地域病院へと救急搬送され、容態は安定している。警察はこの事件で容疑者を拘束し、警察署へ拘留した。

2月27日【**銃撃による負傷**】 午後10時頃、ベリーズ市ピクストック通りのジャングル地区において、男性（26歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性はバスケットコートで友人らとポーカーをして楽しんでいたところ、背後から突然銃撃された。銃撃犯は近くで待機していた仲間のオートバイに乗って逃走、被害男性は治療のためKHM病院へ救急搬送され、容態は安定している。警察は、一般市民に情報を求め、事件の捜査を続けている。

【強盗事件・窃盗事件関連】

2月6日【**空き巣事件**】 午後1時30分頃、ベリーズ市のキングス・パーク地区の住宅において、空き巣事件が発生した。警察によると、この家の住民は海外旅行中で、住居を管理している管理人（58歳）から空き巣被害に遭った旨の報告があった。住居を確認したところ、金属製の窓8つ、木製のドア3つ、トイレ1つ、洗面台1つが盗まれていた。近隣住民の情報により、警察はこの事件の容疑者を逮捕、拘束し、事件の動機を確認している。

2月7日【**武装強盗**】 午後5時20分頃、ベリーズ郡レディビル村のレイクガーデン地区の道端の露店において、強盗事件が発生した。警察によると、オートバイに乗った2人組が店の前で停車し、拳銃を取り出し現金を要求した。脅された店員は、売上金と自身の持っていた iPhone を差し出した。犯人らは他にも、近くのテーブルに置いてあった現金入りのバックを奪い、逃走した。この事件の被害総額は、ベリーズドル（BZ\$）5,430（約42万円）だった。警察は犯人らの行方を追い、捜査を続けている。

2月10日【空き巣事件】 早朝頃、オレンジウォーク郡カルメリタ村の住宅において、空き巣事件が発生した。警察によると、この家に住む男性（20歳）が、同日早朝に帰宅したところ、何者かに侵入された痕跡を発見し、警察へ通報した。発見時、施錠されていたドアはこじ開けられており、窓と室内のドアは半開きの状態で、照明がすべて点灯していた。調査の結果、この家からはノートパソコン、スマートプロジェクター、ブルートゥーススピーカー等が盗まれており、被害総額はBZ\$ 1,380（約10万7千円）だった。警察は事件の捜査を続けている。

2月17日【侵入窃盗】 午後11時頃、ベリーズ郡サンペドロ町のシーフードレストランにおいて、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、この店の店主は、前日の午後10時頃に店を閉め、翌朝10時頃に出勤したところ、入口ドアの鍵が破壊され、何者かに侵入された形跡があり、現金BZ\$ 4,000（約31万円）の入った金庫が盗まれていた。通報を受けた警察は、近隣の防犯カメラ映像を解析し、不審人物が金庫を持って立ち去るところを確認した。引き続き、容疑者の行方を追っている。

2月18日【武装強盗事件】 午後2時30分頃、コロザル町のチュラビスタ地区にあるウェスタン・ガソリンスタンドにおいて、武装強盗事件が発生した。警察によると、2人組の強盗が同店を襲撃し、拳銃で店員を脅迫した。身の危険を感じた店員は要求に応じ、容疑者らは当日の売上金を奪って逃走した。通報を受けた警察は、周辺地域に捜査網を展開し、容疑者らの追跡にはドローンを活用した。事件発生から1時間後、同町に住む容疑者2名（20歳、37歳）を逮捕した。

【違法薬物・違法銃器類関連】

2月3日【違法薬物の所持】 午後8時30分頃、オレンジウォーク町のカサリナ通りにおいて、コカインを所持していた男（19歳）が逮捕された。警察によると、同町をパトロールしていた警察が挙動不審な男（容疑者）を発見し、職務質問をしたところ、容疑者の男はコカイン0.14グラムを所持していた。容疑者はその場で拘束され、オレンジウォーク警察署へ連行された。容疑者は黙秘を貫いているため、警察は詳しい捜査を続けている。

2月9日【密売目的で違法薬物を所持】 午前8時頃、コロザル町のとある住宅において、密売目的でコカインを所持していた無職の男ら（37歳、48歳）が逮捕された。警察によると、特別捜査班が捜査令状を基に住宅内を捜査し、10個に小分けされたコカイン約11Kgを発見した。その場にいた容疑者らは現行犯逮捕され後、正式に起訴され、コロザル地裁へ出廷し罪状認否を受けたが、最終的な判決は5月中旬頃に延期された。

2月9日【密売目的で違法薬物を所持】 午後4時15分頃、ベリーズ郡バレル・ブーム村において、コカインを所持していた理髪師の男（27歳）が逮捕された。警察によると、同郡のサンドヒル村で発生した強盗事件に対応するため出動した警察官が、容疑者を思われる車両を発見し、追跡した。この車両は本件の容疑者が運転しており、警察が車両を停止させ車内を確認したところ、コカイン約6グラムが発見された。容疑者はその場で逮捕され、バレル・ブーム警察署へ連行された。

2月14日【自宅の庭から大麻】 午前6時頃、オレンジウォーク郡サンホセ・ヌエバ・パルマー村のコロゾ通り沿いの住宅において、大麻を隠し持っていた男（60歳）が逮捕された。警察によると、捜査令状に基づき容疑者の自宅を捜査したところ、庭から4つのビニール袋が発見され、大麻が入った透明なビニール小袋26個を押収した。男性はその場で逮捕され、オレンジウォーク警察署へ連行された。

2月18日【違法薬物の摘発】 午後2時40分頃、ベルモパン市ラス・フローレス地区のヒラソル通りにおいて、密売目的で違法薬物を所持していた4名の男（20歳、23歳、25歳、35歳）を逮捕した。警察によると、情報提供により、同地区を訪れた警察は、容疑者らが集まっている建物を捜査し、コカイン39グラム、大麻120グラムを摘発した。容疑者らはその場で逮捕され、ベルモパン警察署へ連行された。

【その他事件・事故関連】

2月17日【横領により起訴】 午後2時頃、コロザル町在住の農村振興省所属のベリーズ政府職員の男性（40歳）が、ベリーズ郡にあるクルックド・ツリー水道局からBZ\$15,315（約119万円）を横領したとして告発され、横領罪で起訴された。被告人はベリーズ地方裁判所に出廷したが、BZ\$5,000（約39万円）の支払いと、同額の連帯保証人1名を提出したことで保釈された。また、被告は毎週金曜日にコロザル警察署へ出頭し、裁判所の許可なく出国してはならないことを条件とした。

2月21日【暴行事件】 午後4時30分頃、ベリーズ市ジョセフ通りにおいて、未成年の男性2名（共に18歳）が襲撃される事件が発生した。警察によると、被害者らは同市内のサッカー場で試合を観戦後、帰宅した際に複数の男たちに、釘の刺さった木やその辺に落ちていた石などで攻撃された。被害者らは、近くの高校の敷地内へ駆け込み、保護された。その後、治療のためKHM病院へ救急搬送され、容態は安定している。警察は、事件の捜査を続けている。